

ふは新の郷

— 第21号 —

令和4年(2022年)9月発行
発行者 一般社団法人
山口県身体障害者団体連合会
山口県山口市大手町9-6
TEL 083-928-5432
FAX 083-928-5436
(障害者ホットライン専用)
TEL 083-928-5580
E-mail: webmaster@syogai-yamaguchi35.jp
http://syogai-yamaguchi35.jp

料理講座(第1回)

令和4年7月2日(土)
場所: 大殿地域交流センター(山口市)

「家でも挑戦できるおいしい料理を作ろう♪」をモットーに年2回開催しています。この講座には知的障害者や視覚障害者等、様々な特性のある方が参加し、切る・焼く・量る等、それぞれができることを見つけ、みんなで協力しながら料理を完成することができました。

こんだて

ひじきごはん
おくらの海苔酢あえ
卵のお好み焼き風
メロンパバロア



花の寄せ植え講座(第1回)

令和4年7月2日(土)
場所: 大殿地域交流センター(山口市)

今年度より新たに始めた講座で、多くの方にご参加いただきました。

好きな色の花や置物を選び、講師に正しい植え方を教わりながら個性あふれる寄せ植えを作り、作ったものは各自持ち帰りました。花の特徴や水やり方法等も学び、植えるだけでなく、講座後の花の成長にも目を向けていただきました。



ワークショップ (手工芸の部)

令和4年6月25日 (土)
場所: 室積市場ん (光市)

光市の「ドラゴンCafé」で「布を使ったブローチづくり体験」を行いました。布をくくったりビーズを貼り付けたりして、豪華でかわいい作品ができあがりました。凝れば凝るほど夢中になってしまふ、子どもも大人も誰でも楽しめるワークショップでした。



布の切れ端や
ひも、ビーズ等、
色鮮やかな材料を
見るだけでも
とっても
ワクワク
しました♪



同会場で 13 名の
障害のある作家の
「障害者文化芸術作品等
調査・発掘事業パネル
展示」を開催しました。

写真講座 (第1回)

令和4年7月31日 (日)
場所: 花の海 (山陽小野田市)

この講座は、山口県障害者芸術文化祭の応募作品展示会への出展、そして入賞を目指すことを目的に毎年開催しています。

受講者からのひとこと

朝は少し小雨が降る中出発しましたが、目的地へ着くころには心配をしていたお天気も嘘のように良くなり、青空の下、満開のヒマワリの中で皆さん夢中でカメラのシャッターを切りました。それぞれセンスあふれる作品ができあがりました。

後ろ向きのヒマワリもいいですね♪
写真提供: 受講者



書道講座 (第1回)・ワークショップ (書道の部)

令和4年8月25日 (土) 場所: しらさぎ会館 (山口市)

この講座とワークショップは、自由な感覚で書道を楽しむことがモットーです。田端先生にアドバイスをいただきながら大きな筆で紙いっぱいに大胆に書く方や小筆で繊細に書く方、個性あふれる素敵な作品が出来上がりました。

また、長谷川先生からもオンライン (Zoom) でアドバイスをもらいました。



第10回山口県障害者交流カラオケ大会 オンライン予選会

令和4年7月5日～31日

7月5日～31日にかけて、第10回山口県障害者交流カラオケ大会のオンライン予選会を開催しました。予選会を通過された方は、令和5年2月7日（火）に決勝大会（集合形式）に出場していただきます。

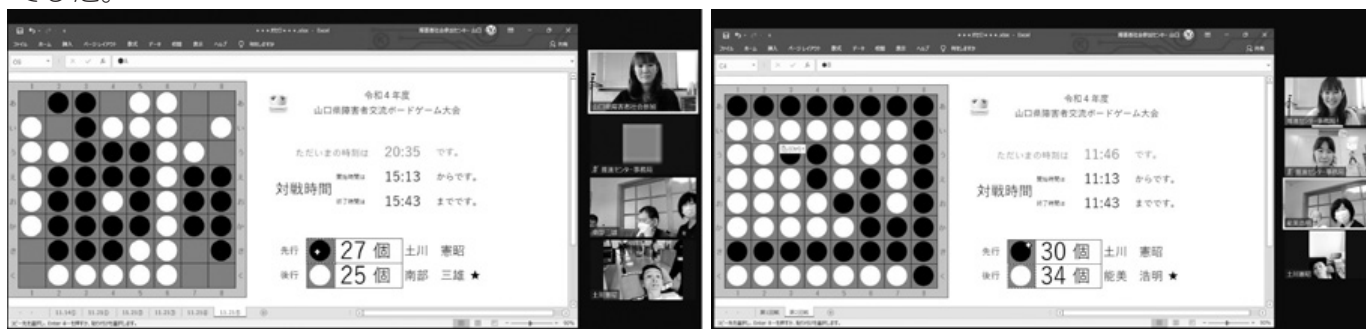
♪みなさま素敵な歌声をありがとうございました♪



令和4年度山口県障害者交流ボードゲーム大会 オンラインオセロ大会

令和4年7月14日～8月25日

7月14日～8月25日にかけて、オンラインオセロ大会を開催しました。いつもの仲間同士でオセロを楽しむのとは少し違って、離れた仲間と対戦できるのはオンラインならではの！！いい緊張感がある大会でした。



オンライン（Zoom）で開催することで、新型コロナウイルス対策（非接触、移動不要）や、病気や障害等により移動、外出が困難な方のご参加が可能となりますので、今後もより多くの方の参加をお待ちしております。

令和4年度山口県障害者交流ボードゲーム大会 (囲碁・将棋・オセロ・健康マージャン)

令和4年7月30日(土) 場所: 山口県社会福祉会館(山口市)

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、規模を縮小しての開催となりましたが、皆さん、熱く真剣に対戦に挑み、障害のある人もない人も共に同じ時間を楽しみました。

今年度より、新しく加わった健康マージャンの部にも多くの方にご参加いただきました。普段から健康マージャンに取り組まれておられる山口カルチャースポーツ協会の皆様にもご協力いただきました。(囲碁の部は参加者少数のため、残念ながら中止となりました。)

【協力・審判員】

日本棋院山口県支部連合会 山口支部
公益社団法人日本将棋連盟 山口県支部連合会
NPO法人山口カルチャースポーツ協会



オセロの部

☆優勝 大瀨大輔さん
(宇部市)

☆準優勝 江本幸雄さん
(下関市)

☆第3位 三井秀典さん
(山口市)

☆入賞☆
おめでとう
ございます

左から、
三井 秀典さん
宮原 所長
江本 幸雄さん
大瀨 大輔さん



将棋の部

☆優勝 松本拓也さん
(防府市)

☆準優勝 吉松忠彦さん
(山口市)

☆第3位 中村優太さん
(周南市)



北村公一先生 中村優太さん
吉松忠彦さん 松本拓也さん
宮原所長

将棋の部 優勝 松本 拓也さんの感想

コロナ禍中の将棋大会開催、有難うございました。関係者の皆様には感謝申し上げます。今年の将棋部門の参加者は6人でした。午前中に大会を終了することになり、6人でのトーナメント方式で予定通り午前中で大会は終了しました。私は昨年の優勝者なので、1回戦は不戦勝から始まり、準決勝と決勝の2局だけでしたが、優勝できて嬉しかったです。これで2015年～2022年の8年間の間1大会、中止を挟んで、7連勝が達成できました。

また、この大会が開催する事を期待しています。

健康マージャンの部

☆優勝 松尾洋一郎さん
(下関市)

☆準優勝 大平 悟さん
(山口市)

☆第3位 宮崎宣春さん
(下関市)



大平悟さん 重枝了先生 宮崎宣春さん
松尾洋一郎さん 宮原所長

健康マージャンの部 優勝 松尾 洋一郎さんの感想

今年も山口県障害者交流ボードゲーム大会に参加しました。将棋やオセロがあり、今年から開催の健康マージャンに参加しました。麻雀は病気になる前やっていたのですが、左手しか使えないのでパイを積むのに時間がかかり少し緊張しました。雀卓は3台で12名の参加者、競技の前に審判員の重枝さんがルールなどを説明し競技時間を決めていることにビックリ。点棒は2万5千点の3万返しで競技開始1回戦は私の東局から始まり緊張したが終わってみればトップになっていました。2回戦は南局で始まり緊張もほぐれて楽しく競技が出来ました。終わってみれば又トップでした。球技が終わり点数の計算をしてもらったら、なんと優勝していました。第1回目の大会で優勝できて嬉しかったです。35年ぶりだったので符の計算を少し忘れていました。又来年も参加したいと思います。

大会・講座は、共生社会の一環で、
障害がある人もない人も参加をしていただき、
交流を深めました。

★HPやFacebookも更新中です★

各行事のご案内やご報告等、
随時更新しています！見てください♪

HP



Facebook



「山口県身連」
で検索してね!!

加盟団体の紹介

認定NPO法人 山口県腎友会の活動報告 NO.1

山口市の済生会山口総合病院と山口赤十字病院が、現在建て替え工事をおこなっています。両病院のご厚意により8月23日、私たち山口市障害者団体連合会のメンバーに見学の機会を与えていただき、誠にありがとうございました。

身体障害者でなければ気づきにくい問題点があれば指摘して欲しいという趣旨でしたので、10年前に人工透析を始めたときに身障者手帳をいただいた私よりも、もっと適任の方がいらしたとは思いますが、各団体から1名ということでしたので、私が腎臓病友の会の代表として見学させていただきました。

済生会は北棟が完成（南棟はこれから）、日赤は10月から供用開始という段階で、どちらもさまざまな設備や機器類は搬入の最中。細かい部分まで見ることはできませんでしたが、どちらの病院からも、患者が利用しやすいような配慮を感じることが出来ました。

しかし各障害者団体の方から出された指摘は、やはりその障害をお持ちでないと分からないようなことで、とても勉強になりました。

視覚障害の方からは、壁の点字はさわりにくくて読み取りにくいので、触りやすいように角度をつけてほしいという要望が出されていました。聴覚障害の方からは、待合で呼ばれても、耳が聞こえないので、目で見てわかる掲示板の設置を要望されていました。人工肛門をつけているオストミー協会の方は、人工肛門の人が使えるトイレの設置がしてあることや、右手用、左手用どちらにも対応できる仕様になっていることを評価されつつも、車いすの方はゴミ箱の蓋を足で開けられないことを指摘し、改善を求めておられました。

私たち透析患者にも目や耳が不自由な方、車いすの方、ペースメーカーをつけた方がいらっしゃいますし、それぞれが自分でなければ分からない困難をかかえています。見学会では、山口市障がい福祉課の浅川課長も病院のスタッフに積極的に質問をしておられました。また、市職員の皆様には、見学会にむけての病院側との調整や車の手配など、ご尽力いただき感謝しております。

私も障害をかかえた方たちお一人お一人の苦勞に心が寄せられるように精進し、みなさんと力を合わせて、障害のある方もない方も暮らしやすい街づくりを目指したいと思っています。



理事 谷村 律弘

リボン運動☆みなさんはいくつ知っていますか?? No.12

社会問題や難病に対して、世界で統一した色のリボンを身につけ、支援を表明するために身につけるアイテムを“アウェアネス・リボン”と言います。アウェアネスとは、気づき・認識という意味です。

そして、身につけたりブログに載せたりして周囲に理解と支援を広めようとすることがボランティア活動にもなります。



小児がんの子どもたちを支える活動のシンボルマークです。
なぜゴールド(金色)?

子どもは「国の宝」です。そのような点から考えて、「子どもたちは私たちにとって、金(きん)のように【最も貴重な宝物】である」という考えから、ゴールド(金色)リボンがシンボルマークとして使われています。

金(きん)は火にかかるプロセスを経てより強くよりタフになります。「小児がんの子どもたちが【辛い経験や挑戦を乗り越えて、より強くより幸せになれるように】という願いも込められている」と言われています。

小児がんとは・・・一般的に15歳未満の子どもに起こるがん（悪性腫瘍）を小児がんと呼んでいます。

大人のがんに比べれば患者数が少なく希少がんと言われますが、毎年2,000～2,500人の子どもたちが新たに診断されています。

認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワークHP参照

リボンの色と意味

1イエロー	障害者の自立
2オレンジ	児童虐待
3シルバー	発達障害
4パズルリボン	自閉症
5ピンク	乳がん
6ホワイト	妊産婦の命を守る
7きみどり	親子の絆
8透明	見えない障害
9うぐいすリボン	表現の自由
10そら色	性同一性障害
11レインボー	同性愛
12ゴールド	小児がん
13グリーン	移植医療普及
14レッド	エイズ
15ブラウン	北方領土返還・禁煙
16ティール&ホワイト	子宮頸がん
17ブラック	哀悼・ネット上の自由
18フラグリボン	9.11の犠牲者へ
19パープル	女性に対する暴力根絶
20ブルー	拉致問題

リボンの種類は他にもあります

山口県手をつなぐ育成会

きららの会活動報告



きららの会ってなに？

この会は、知的障害がある仲間たちが、楽しく仲良く積極的に社会での活動や話し合いを行うことを目的としています。

総会（4月）を開き、年間の計画を立て、宿泊研修・リーダー養成（6月）勉強会（11月）新年会（2月）などの活動をしています。

コロナ禍でこの2年はほとんど活動ができていませんが、3年度、高知でのスマイル大会に向けて、10月10日育成会事務局の又村さんとリモートで勉強会をしました。

手伝ってくださる方の力を借りて、一人ひとりの本人が自分に自信を持つことや、仲間たちとお互いを理解し、ともに支えあうこと・自分たちと社会の関係を見て、知って、話し合い、自分たちの権利や自立のために、できることを学ぶことをしていきます。

★きららの会勉強会の様子★



テーマは

「使ってみようつながってみよう新しいツール」

コロナ禍の中、リモートでの相談や支援が始まりましたが、多くの方がリモートを知らず、利用した経験がないのが現状でした。そこで、全国手をつなぐ育成会連合会の又村さんを講師に招き、Z o o m の利用方法を知り、体験することを目的に勉強会が開催されました。

パソコンでつながることが不思議でしたが、コロナ禍でもできることがあって、みんなとてもよい笑顔でした。



《問い合わせ先》

山口県手をつなぐ育成会事務局（担当：青木）

〒753-0072 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内 Tel083-925-2424 Fax083-925-2212

国立県営 広島障害者職業能力開発校

障害のある方々に、様々な職種についての知識や専門的な技術、技能を習得していただくために、職業能力開発促進法に基づいて国が設置し、県が委託を受けて運営する職業能力開発施設です。（授業料無料 寮有り）

ただいま令和5年度4月入校生募集中です。

募集期間 令和4年9月1日（木）～10月18日（火）

訓練期間	訓練科目	定員
2年	CAD技術科	15名
	情報システム科	10名
	Webデザイン科	10名
1年	OAビジネス科	17名
	音声パソコンコース（OAビジネス科）	3名
	事務実務科	10名
	総合実務科	30名
6か月	チャレンジコース（総合実務科）	5名

※詳しくは、ホームページ 又は、お問い合わせください。



【お問い合わせ】

広島障害者職業能力開発校

〒734-0003 広島市南区宇品東四丁目1-23

TEL 082-254-1766 FAX 082-254-1716

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/188/>

又は、居住地を管轄する公共職業安定所（ハローワーク）



校舎の風景



実習風景（Webデザイン科）

第28回山口県障害者芸術文化祭

～ 「共生社会」の実現をめざして ～

障害者が中心となった
総合的な芸術文化祭を開催することにより、障害者の社会参加を図り、
障害のある人とない人とのより一層の交流を深めるとともに、
芸術の質の向上を目的とする。

主催：山口県・山口県障害者社会参加推進センター

《応募作品展示会》

障害のある方が制作された作品約300点を一堂に展示します。作品に込められたメッセージを感じてください。

日時 令和4年11月22日(火)～12月1日(木) ※11月28日(月)は休み
場所 山口県政資料館

☆ 作品募集中 ☆

応募作品展示会に出展してみませんか？★

あなたの作品が大きな会場に飾られ、たくさんの人に見てもらえる機会です。

部門：絵画・書道・写真・手工芸・文芸・俳句短歌

〆切間近！
9/30(金)
申込書必着

作品の提出はもう少し
先なので、まだ作品が
完成していなくても
大丈夫！

興味のある方は
お気軽に
下記事務局まで
お問合せください。

作品展会場：山口県政資料館



《応募作品展示会表彰式》

応募作品展示会で最優秀賞、優秀賞、特別賞を受賞された方々の表彰式を行います。

日時 令和4年12月3日(土)
場所 山口市

写真：昨年度の様子



【事務局】

山口県障害者社会参加推進センター
〒753-0072 山口市大手町9-6
TEL: 083-928-5432
FAX: 083-928-5436
メール: webmaster@syogai-yamaguchi35.jp



この機関誌の一部は共同募金配分金により発行されています